学校番号	T3011

令和８年度　工業科（A 系列）

教科	工業	科目	自動車工学	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「自動車工学１」（実教出版）、「自動車工学２」（実教出版）						
副教材等	自動車整備士養成課程　三級自動車整備士（総合）　（日本自動車整備連合会）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

自動車工学は、自動車の構造や機能、仕組みについて学習し、エンジンや、シャシ、電気装置などの専門に関する座学を行います。日々、進歩する自動車技術に興味・関心を持ち、基礎的な知識を基に自動車整備士として優秀な人材となる事が目標です。

2　学習の到達目標

【知識及び技術】
自動車について構造と機能を踏まえて理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
自動車に関する課題を発見し､技術者として科学的な根拠に基づき工業技術の発展に対応し解決する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
自動車の付加価値を高める力の向上を目指して自ら学び､自動車産業の発展に主体的かつ共働的に取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	自動車工学に関する基礎的・基本的な技能を身に付け、その技能を適切に活用している。	自動車の動力伝達や制動、走行性能に関すること、電気・電子技術に関することに思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、技術者として適切に判断し、学び深めた知識・技能を表現する。	基礎的・基本的な知識・技能を自らの力で主体的に取り組み学びを深める。 構造や原理など専門的な知識を深め、主体的に学習することで自らの技能・知識をより一層深める。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
	ガソリンエンジン	ガソリンエンジンの吸気装置 ・ガソリンエンジンの排気装置 ・排気ガス浄化装置 ・過給器　給気冷却器	a:ガソリンエンジンの構造に関心を持ち知識と技能の向上を目指して取り組んでいる。 b:ガソリンエンジンの基本的な知識・技術に関心を深め、思考する力を身につけている。 c:ガソリンエンジンの環境対策など必要な知識を身に付け主体的に学び姿勢。	考査 小テスト	ワーク シート	質問等による取り組む姿
	電気・電子装置	ガソリンエンジンの点火装置 ・イグニッションコイル ・スパークプラグ ・スタータ ・オルタネータ ・バッテリ	a a:ガソリンエンジンの電気・電子装置に関心を持ち知識と技能の向上を目指して取り組んでいる。 b:ガソリンエンジンの基本的な知識・技術に関心を深め、思考する力を身につけている c:ガソリンエンジンの環境対策など必要な知識を身に付け主体的に学ぶ姿勢	考査 小テスト	ワーク シート	質問等による取り組む姿勢
後期	動力伝達装置	・クラッチ ・変速装置 ・減速装置	a:自動車の動力伝達機構に構造に関心を持ち知識と技能の向上を目指して取り組んでいる。 b:自動車の動力伝達装置の基本的な知識・技術に関心を深め、思考する力を身につけている c:自動車の動力伝達装置など必要な知識を身に付け主体的に学ぶ姿勢	考査 小テスト	ワーク シート	質問等による取り組む姿勢

	電子制御装置	・吸気系統 ・燃料系統 ・制御系統 ・コントロールユニット・吸気系統 ・燃料系統 ・制御系統 ・コントロールユニット	a:自動車の電子制御装置に関心を持ち知識と技能の向上を目指して取り組んでいる。 b:自動車の電子制御装置の基本的な知識・技術に関心を深め、思考する力を身につけている c:自動車の電子制御装置など必要な知識を身に付け主体的に学ぶ姿勢	考査 小テスト	ワークシート	質問等による取り組む姿勢
	法令	・車両法/点検基準 ・保安基準	a:自動車の法令について関心を持ち知識と技能の向上を目指して取り組んでいる。 b:自動車の車両法や保安基準など基礎的な知識・技術に関心を深め思考する力を身につけている c:自動車の法令など必要な知識を身に付け主体的に学ぶ姿勢	考査 小テスト	ワークシート	質問等による取り組む姿勢

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度